

LTE版かんたん位置情報サービス FOTA実施マニュアル (バッテリータイプ V06-05用)

2022年5月12日

日付	頁数	変更内容
2021/2/1	-	新規作成
2021/3/9	P5	表中に手順概要を記載
	P6	端末設定CSVのインポート手順を追記
	P8	FOTA実施後の端末状態確認手順を追記
2022/4/27	P3	対象はバッテリータイプ、FWバージョン 06-05 の場合のみであることを追記
	P9	手順4の記載を修正

平素はLTE版かんたん位置情報サービスをご利用いただき誠にありがとうございます。

このマニュアルは、バッテリータイプのFWバージョンが**V06-05**の場合の手順書となります。
手順については2通りの方法がありますので、ご確認の上、ご対応お願いいたします。

バッテリータイプV06-06以上、およびバッテリーレスタイプのバージョンアップについては、別途用意されているマニュアルを参照ください。

※FOTA：GPS端末のソフトウェアバージョンアップを行うことにより、GPS端末の機能向上を行うための機能です。

バッテリータイプのFOTA実施については2通りの方法がありますので、どちらかの方法でFOTAを実施頂きますようお願いいたします。

No.	実施方法	手順概要	メリット	デメリット
①	管理者主導による方法 (推奨)	1. 端末設定CSVエクスポート後に ↓ 2. 自動FW更新有無設定 無→有に変更 ↓ 3. 遠隔再起動契機でFOTA開始 ↓ 4. 自動FW更新有無設定 有→無に変更	• 管理者の任意のタイミングでFOTAを開始することが可能です • FOTAを実施する端末を選択することが可能です • No.②よりFOTA成功しやすくなります	• 全端末一括でFOTA実施することができず、管理者側から1台ずつ操作が必要です • 利用者の履歴一覧に遠隔再起動の履歴が残ります
②	端末利用者主導による方法	1. 自動FW更新有無設定 無→有に変更	利用者のタイミングで実施可能です	給電開始で端末の電源をONしなければFOTAが失敗し、端末が正常に動作しなくなる場合があります ※GPS端末の操作をすることで復旧可能です

アライアンス企業管理者が任意のタイミングでFOTA指示が可能のため、FOTAの開始タイミングをコントロールすることができます。そのため、利用者にFOTA開始日時を事前にアナウンスしたり、利用状況を確認しながらFOTAを開始させることが可能となります。

■管理者側の操作

手順1：アライアンス企業管理者画面にログインし、トップページから「端末情報管理」を選択してください。

手順2：「端末情報管理」画面で「検索」→「エクスポート(端末設定用)」でCSVを取得してください。

手順3：取得したCSVは中身を変更せず「インポート」を選択し、取り込んでください。端末がLTE圏内かつ電源が入っていれば設定が反映されます。設定が反映されると1日1回の端末設定情報確認のタイミングを設定反映から24時間後にずらすことが可能です。そうすることで端末が正常に起動しない事象が発生するリスクを下げることができます。

※詳細はP7の注意事項（2）参照

端末情報管理

検索条件

端末製造番号:

IPアドレス:

ログインID:

運用状態:

登録日(開始):

登録日(終了):

すべて

手順2

手順3

手順1

検索

クリア

エクスポート(端末情報用)

エクスポート(端末設定用)

インポート

登録処理状況

端末FWバージョンアップ要求

端末FWバージョンアップ要求処理状況

(参考) 手順3の設定反映状況については、トップページから「端末情報管理」→「検索」で端末一覧を表示することで確認が可能です。端末の設定項目がピンク色になっている場合、LTE圏外または電源OFFで手順3の設定が反映されていないことを示しています。

No.	端末CD	端末製造番号	端末種別	IPアドレス	FWバージョン	ログインID	初期パスワード	登録日	端末ブザー利用設定	端末ブザー音量設定	端末ブザー開閉設定鳴動時間	端末ブザー開閉設定消音時間	充電時電源動作設定
1							***	2020/02/26	ON	3	2	1	ON
2							***	2020/02/26	ON	3	2	1	ON
3							***	2020/02/28	ON	3	2	1	ON
4							***	2020/03/12	ON	3	2	1	ON

手順4：トップページから「UIデザイン」を選択してください。

手順5：UIデザイン画面の「自動FW更新有無」が**“有”**になっていることを確認します。“無”になっている場合は“有”に変更してください。

運用情報設定

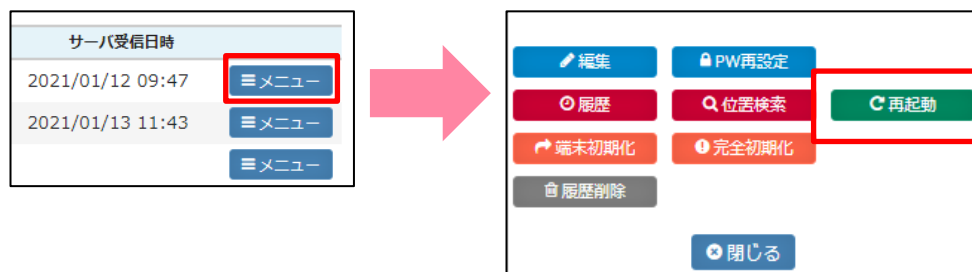
通知メール送信元アドレス

自動FW更新有無 ☒有 ☐無

手順6：TOP画面に戻り、「契約者情報管理(利用者)」→「検索」を選択し契約者の一覧を表示してください。

手順7：FOTAを開始させたい利用者（端末）の「メニュー」→「再起動」を選択してください。

※全利用者一括で再起動できないため、1契約者（端末）ずつ再起動の実施お願いいたします。



手順8：**端末がLTE圏内かつ電源が入っていれば端末が再起動し、FOTAが開始されます。**完了までに15分程度かかります。FOTA中も端末は利用可能です。

※GPS端末の充電が50%以下の場合、FOTAは失敗しますが、失敗後も端末は利用可能です。

※FOTA中は端末の2つのLEDランプが交互に青色点滅します。点滅中は電源OFFを行わないで下さい。

手順9：トップページから「端末情報管理」→「検索」を選択し端末情報の一覧表示後、「FWバージョン」欄で端末のFWバージョンを確認することが可能です。

手順10：管理者側の操作を終了する場合は、UIデザイン画面の「自動FW更新有無」の設定を**“無”**に変更してください。管理者側の操作を再開する場合は手順1から再実施をお願いします。

※”②端末利用者主導による方法”でのアップデートを防ぐため、長時間、「自動FW更新有無」の設定を**“有”**にしないことを推奨します。

（参考）トップページから「サービス利用状況管理」を表示し、FOTAを実施していた時間帯で利用状況を検索します。検索結果に**“電源ON”**通知ステータスが記録されている端末がある場合、注意事項（1）が発生し、正常に動作していない可能性のある端末情報を抽出することができます。

No.	端末製造番号	利用者ID	ステータス	処理結果
1			遠隔再起動	OK
2			給電開始	OK
3	0001SCH	test10	電源ON	OK

FOTA未実施端末かつFOTA実施時間帯に電源ON通知がある場合、正常に動作していない可能性あり

■ 注意事項

手順5のUIデザイン画面「自動FW更新有無」の設定を**“有”**にしている状態は、「②端末利用者主導による方法」と同等の環境設定になっています。そのため、以下のタイミングでFOTAが開始された場合はFOTAに失敗し、端末が正常に動作しなくなります。

※復旧方法はP10に記載

- （1）端末利用者が手動でGPS端末の電源をONしたタイミング
- （2）1日1回の端末設定情報確認のタイミング

②端末利用者主導による方法

端末利用者がバッテリータイプの電源をONまたは1日1回の端末設定情報確認のタイミングで自動FOTAを開始する方法です。
事前に管理者側で環境の設定変更が必要なため記載いたします。

■管理者側での事前準備

手順1：アライアンス企業管理者画面にログインし、トップページから「端末情報管理」→「検索」を選択してください。

手順2：全端末が表中の「充電時電源動作設定」がONになっていることを確認してください。OFFの場合は、P10に記載した操作でONに変更してください。

端末ブザー利用設定	端末ブザー音量設定	端末ブザー間隔設定鳴動時間	端末ブザー間隔設定消音時間	充電時電源動作設定
ON	3	2	1	ON
ON	3	2	1	ON

手順3：トップページに戻り、「UIデザイン」を選択、UIデザイン画面の「自動FW更新有無」が**“有”**になっていることを確認します。
“無”になっている場合は“有”に変更してください。

運用情報設定

通知メール送信元アドレス

自動FW更新有無 ☒有 ☐無

管理者側での事前準備完了後、
端末利用者側操作でFOTAが発動

次頁の端末利用者側の操作へ

② 端末利用者主導による方法

■ 端末利用者側の操作

手順1：端末の電源を一度OFFしてください。

手順2： **端末にUSBケーブルを接続し、給電を開始することで端末の電源をONしてください。**

※端末の電源ボタン長押しによる起動の場合、FOTAが失敗し、端末が正常に動作しない場合があります。（復旧方法はP10に記載）

手順3：端末が起動すると端末の2つのLEDランプが交互に青色点滅し、FOTAが開始されます。ソフトウェアを最新バージョンにする処理が行われているので、点滅中は電源OFFを行わないで下さい。

※FOTA中も端末を利用することは可能です。

※充電ケーブルを抜いても問題ありませんが、FOTAで多くのバッテリーを消費するので、接続したままを推奨します。

手順4：開始から15分程度経過しますとFOTAが終了します。利用者画面の「各種設定」→「端末情報」欄の端末ファームウェア番号がお知らせ記載の最新バージョンにアップデートされていればFOTA完了です。

※API利用の場合、利用者画面がないため、管理者画面の「端末情報管理」からバージョン確認が可能です。

■「充電時電源動作設定」がOFFとなっている場合

手順1：トップページから「端末情報管理」を選択、画面遷移後、「検索」を選択、一覧表示後「エクスポート(端末設定用)」を選択し、csvファイルをダウンロードしてください。

手順2：ダウンロードしたcsvファイルを開き、「充電時電源ON設定」列の数字を“1”から“0”に変更し保存します。

手順3：「端末情報管理」画面の「インポート」ボタンを選択し、手順2で作成したcsvファイルをインポートしてください。

手順4：インポートが完了したら「端末情報管理」画面の「検索」を選択し、表中の「充電時電源動作設定」がONになっていることを確認してください。

■FOTA実施後、正常に端末が動作しない場合（タイマー通知がこない、“位置を探す”ができないなど）

手順1：端末のGPSボタンを押下し、LEDランプが点灯していれば、電源ボタンを長押し電源をOFFしてください。

※GPSボタンを押下し、LEDランプが点灯していない場合、手順1は省略可能

手順2：**端末にUSBケーブルを接続し、給電を開始することで端末の電源をONしてください。**

